



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.4.19 No. 4380

## 「差別と冷酷、戦争と貧困の歴史に終止符を」

### 安保粉砕！基地撤去を求め、 代々木公園に二万六千名が結集 (4/16)

四月一六日、一八時から、東京・代々木公園において、「沖繩から訴える―土地の強制使用を許さない東京集会」が開催され、労働者・市民・学生、労働組合・市民団体など一万五千名が集まり、動労千葉からも七〇名が参加し、日米安保再定義大改定阻止、米軍基地撤去を訴える沖繩の声に込め集会―デモを闘いぬいた。

「一〇〇名の派遣団が闘いの先頭の立つ」

小雨模様の中候にもかかわらず

ず、会場の代々木公園には労働者・市民や、旗、横断幕を掲げた労働組合・市民団体などが続々と結集してきた。

演壇には、前日の「大阪集会」に続き連日の闘いの先頭に立つ反戦地主会、違憲共闘会議、一坪反戦地主会の派遣団一〇〇名が整然と並び、集会の開始を待っている。

集会は、最初にアトラクシオンとして沖繩民謡などの演奏が行なわれ、その後本集会が始まった。まず、開会にあたって一坪反戦地主会の新崎盛暉氏は「私たちは歴史の転換点に立っている。日米安保再定義は、沖繩基地の固定化であり断じて許せない。力を合わせて新たな闘いに進もう」と高々と全参加者に訴えた。次に主催者を代表してあいさつを行なった違憲共闘会議の有銘政夫議長は「昨年九月四日の少女暴行事件をきっかけとした県民怒りは、今基地への怒り、基地撤去の力となつて燃え広がっている。知花さんの土地の『不法占拠』を日本政府が許していることを強く糾弾する。クリントンに米軍基地をのしを付けて持ち帰らせよう」と、この間の沖繩闘争へのお礼とこれからの闘いへのさらなる協力・共闘を訴え、会場からも万雷の拍手で応えた。



壇上に整然と並び沖繩から派遣された反戦地主会、違憲共闘会議、一坪反戦地主会の人たち



デモ解散地の宮下公園。沖繩派遣団百名が「沖繩を返せ」の大合唱でデモ参加者を迎えた。

「怒りが全国を動かす」  
反戦地主会・照屋氏

沖繩からの決意表明にうつり、反戦地主会の照屋秀伝氏は「安保のために憲法が死のうとしていく。『基地はいらない、もう我慢できない』という怒りが市町村を動かし、知事を動かし、今、全国を動かしている。誇れる沖繩へ、新たな闘いの始まりだ」と語り、基地撤去、移転阻止へ日本、アジア、世界の人たちと共に闘うことが必要であることを訴えた。

東京、川崎、鶴見の各沖繩県人会の連帯あいさつの後、「沖繩を返せ」を全参加者で斉唱し、「沖繩を沖繩民衆自身の手に取り戻し、平和な未来を展望するために、この米軍用地強制使用に断固反対する」沖繩からのアピールを採択し、二コースに別れてデモ行進が行なわれ、動労千葉は反戦共同行動委員会の仲間とともに渋谷・宮下公園まで基地撤去―安保粉砕―を訴えてデモ行進を行なった。

安保粉砕、全ての米軍基地の撤去へ、安保―沖繩闘争を全力で闘いぬこう！

↑当面のスケジュール↓

<p>4/23 (水) 18時</p> <p>物販担当者会議</p> <p>動力車会館</p>	<p>4/25 (木) 18時</p> <p>支部代表者会議</p> <p>動力車会館</p>
---	---